



令和4年10月21日(金) No. 7 文責: 近 久 雅 男

中体連市内新人大会・夏季駅伝大会・県新人陸上大会出場



陸上競技大会に引き続き10月1・8日(土・土)に市内中体連新人大会が、そして10月13日(木)に市内夏季駅伝大会が百年公園で、10月15日(土)には県新人陸上大会が博多の森陸上競技場で開催されました。今年はコロナ禍3年目になりますが、過去2年間の大会とは違い、大会前の練習期間・練習試合の制限はありませんでした。

出場した生徒は、最大限の準備をして、当日は最大限に力を発揮して、実りある最終目標の夏の大会に繋がる大会となりました。

是非、来年の夏の大会では新人大会で得た「課題」を練習の中で克服し、「強み」に変え夏の大会に臨んでほしいと思います。



【市内新人大会・夏季駅伝大会結果】

野 球	3 位	剣 道	男子 6 位 女子 3 位
ソフトテニス(男子)	予選リーグ敗退	サッカー	3 位
ソフトテニス(女子)	予選リーグ敗退	バレーボール(男子)	優勝 地区大会出場
バスケット(男子)	優勝 地区大会出場	バレーボール(女子)	5 位
バスケット(女子)	4 位	卓 球(男子)	3 位
柔 道		卓 球(女子)	予選リーグ敗退
駅 伝 (男子)	A: 準優勝 地区大会出場 記録 1時間2分20秒 大会新記録 B: 10位	駅 伝(女子)	7 位 地区大会出場

【県新人陸上大会結果 入賞者】

優勝 菊次 悠仁 走高跳 記録 1m74cm
 5位 今村ひかり 1年800m 記録 2分25秒33
 6位 高島 理央 1年100m 記録 13秒67



ENGLISH SPEECH CONTEST 出場

(第30回 久留米市中学校英語スピーチコンテスト)

10月5日(水)にえーるピア久留米で市内英語スピーチコンテストが開催されました。市内19の中学校の代表が、課題の部15校と自由の部4校に分かれて感情をこめて発表しました。

本校からは尾形柚和さんが学校を代表して出場しました。「I Am Here To Speak」という題目で、緊張しながらも見事なスピーチを披露しました。その後、文化発表会でも全校生徒の前で堂々としたスピーチを行いました。

文化発表会を開催



合唱コンクール



展示作品



吹奏楽部



松林さん 弁論



尾形さん 英語スピーチ



放送部



生徒会

10月19日(水)に3年ぶりに文化発表会を石橋文化ホールで開催しました。平日開催にもかかわらず400名を超える保護者の方々に参観いただきました。午前中の合唱コンクール、午後からの吹奏楽部の演奏・松林大輔さんの弁論・尾形柚和さんの英語スピーチのステージ発表はどれも素晴らしいものでした。特に三年生の合唱は6クラスともレベルが高く、甲乙

つけがたいものでした。そして、放送部の映像、生徒会のゲームや振り返り映像も、創意工夫された内容でした。また、展示物も美術部・家庭部・理科の自由研究・家庭科レポートがあり、各自の個性が溢れてた興味深い作品ばかりでした。思い出に残る文化発表会となりました。

○合唱コンクールの結果は以下の通りです。

	金賞	銀賞	銅賞	指揮者賞	伴奏者賞
1年	5組 マイバラード	4組 大切なもの	2組 怪獣のバラード	高山 翔悟 1組	山本 隼大 5組
2年	3組 絆	2組 旅立ちのとき	6組 あすという日が	田川 にこ 1組	中島 伶菜 4組
3年	6組 走る川	3組 信じる	4組 ヒカリ	志原 拓弥 3組	横松 華 1組

第43回JSCA全国ブロック対抗水泳競技大会出場

10月1・2日(土・日)に土井悠永さんが高知市のくろしおアリーナであった第43回JSCA全国ブロック対抗水泳競技大会に九州地区の代表として出場しました。100m自由形7位、200m自由形10位と結果を残しました。来年の夏の大会に繋がる大健闘の大会となりました。

心があたたかくなる話です

10月2日(日)に3年1組の柿本祐翔さんが鳥栖での用事を済ませ、帰宅途中 JR 久留米駅で JR 久大線に乗り換えのために待っていた時の出来事です。柿本さんは乗り換えのために20分程乗り換え時間がありました。すると、駅員さんがプラットフォームの掃除を始めたそうです。よく見ると、かなり散らかっていることに柿本さんも気づき、駅員さんの掃除する姿を見て大変だなと思ったそうです。普通なら思うだけで終わるのですが、柿本さんは駅員さんに声を掛けます。「私も掃除をさせてください」と。そして、乗り換えの列車が来るまでの20分間、一生懸命に掃除の手伝いをしました。駅員さんは柿本さんの言葉掛けと言葉だけではなく懸命に掃除を手伝ってくれたことに感激をされ学校まで連絡をされました。先生も報告を受け柿本君と話をしました。「何故、掃除を手伝ったんですか」と尋ねました。柿本さんは「大変そうだから手伝いました」と答えました。困っている人がいるから助けたということです。できるようでなかなかできないことです。心があたたかくなりました。